

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公開番号】特開 2006-8771 (P2006-8771A)

【公開日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2006-002

【出願番号】特願 2004-185073 (P2004-185073)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 83/07 (2006.01)**

**C 0 8 K 3/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 83/05 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 83/07

C 0 8 K 3/00

C 0 8 L 83/05

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 12 日 (2007.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

以下、本発明を実施例により詳細に説明する。なお、実施例と比較例中、部は重量部を意味する。粘度は 25 における値である。重量平均分子量は、ゲルパーミエーションクロマトグラフィーにより測定し標準ポリスチレン換算して求めた値である。硬化性シリコーンレジン組成物の硬化物の硬さは、J I S K 7 2 1 5 - 1 9 8 6 「プラスチックのデュロメータ硬さ試験方法」に従ってタイプ D デュロメータにより測定した。シリコーンゴム組成物の硬化物の硬さは、J I S K 6 2 5 3 - 1 9 9 3 「硬さ試験方法」に従ってタイプ A デュロメータにより測定した。P h はフェニル基、M e はメチル基、V i はビニル基を意味する。一体化成形体のシリコーンレジン硬化物は硬化性シリコーンレジン組成物の硬化物を意味し、シリコーンゴムはシリコーンゴム組成物の硬化物を意味する。